

畜産みやぎ

題字
宮城県知事 山本 壯一郎

発行所
仙台市上杉1丁目2番16号
社団法人 宮城県畜産会
電話 (61-2111)

編集発行人 大石 武一
定価 1部20円
印刷所 K K東北プリント



牛乳々製品の本质と価値を理解していただく、
と開かれた牛乳懇和会風景

もくじ

緊急酪農総合対策事業のあらまし	2
牛乳乳製品懇話会の開催	3
最近の飼料事情と対策について	5
乳用牛改良組織整備促進事業のあらまし	5
昭和47年度家畜共済事業の事故発生状況について	7
昭和49年度地域畜産振興補助事業メニュー(案) について	9
人の動き	11
畜産映画ライブラリー案内	12
新刊図書案内	12

緊急酪農総合対策 事業のあらまし

宮城県畜産課

酪農については、従来加工原料乳に対する生産者補金の交付をはじめとし、種々の振興方策がとられてきておりますが、最近乳牛頭数の減少による生乳生産の停滞現象がみられ、牛乳の需給はひっ迫傾向にあります。

このような動向のまま推移する場合には、国民生活上重要な牛乳の安定的供給に支障を来すおそれがあり、今後一層の振興施策を拡大実施する必要があります、その一環として畜産振興事業団の輸入差益金の一部を事業団の助成事業として、48、49年度の2カ年にわたり酪農振興のために活用されるのが、このたびの緊急酪農総合対策事業であります。

現在県生乳販売農協連（以下生乳販連という）傘下の酪農協等において実施事業を選択中でありますが、事業のあらましについてお知らせをいたします。

1. 補助金額（48、49年度分）

全 国 400 億円
本 県 5,100 万円（48年度3,800 万円、49年度1,300 万円）

2. 助成対象事業

次のメニューより選択実施される事業経費について、畜産振興事業団より生乳販連を経て事業主体に補助金が交付されます。

(1) 酪農振興資金に係る利子補給事業

農家等が酪農経営の安定と生乳の安定的供給を行なうため必要な振興資金を農協、農協連、農林中金等から借り入れる場合に、生乳販連が酪農振興資金利子軽減基金を造成して、融資機関に対し利子補給する。

ア、貸付対象者……生乳を生乳販連に直接間接に販売委託している農家および農協に乳用牛の供給を行なう農協、農協連

イ、酪農資金の内容……乳牛購入資金、乳牛育成資金、施設改良造成に必要な資金、機械器具取得資

金、農地牧野改良造成資金

ウ、貸付期間……3カ年以上、利子3.5%以内（3カ年）

(2) 乳用雌牛導入促進事業

農協、農協連（生乳販連に直接間接に出荷する生乳を販売委託しているもの）が乳用牛資源の維持拡大をはかるため、農家に3カ年貸付し、貸付期間満了後譲渡する乳用雌牛を導入する事業と、これらの団体が自ら繁殖育成を行なうため必要な乳用雌牛を導入する事業等に対し、生乳販連が助成する。

ア、補助額 乳用成牛1頭35,000円、乳用育成牛1頭20,000円

(3) 優良乳用雌牛輸入事業

農協、農協連（生乳販連に直接間接に出荷する生乳を販売委託しているもの）が農家に貸し付けるため優良乳用雌牛を輸入する事業に対し、生乳販連が助成する。

ア、補助額 1頭当たり10万円以内（輸送費、輸送保険料、検疫費）

イ、貸付牛貸付期間 1カ年以上

(4) 優良乳用雌牛緊急繁殖奨励事業

農協、農協連（生乳販連に直接間接に出荷する生乳を販売委託しているもの）が農家の飼養する一定年令以上の乳用牛の繁殖奨励をはかるため人工授精を行なう事業に対し生乳販連が助成する。

ア、補助対象……42年12月31日以前に生産され、血統登録証明書があり、出荷する生乳の全量を事業主体へ直接間接に販売しているもの。

イ、補助額 1頭当たり2,500円

(5) 経産牛保留管理事業

農協（生乳販連に直接間接に出荷する生乳を販売委託しているもの）が経産牛のと殺を防止し、生乳生産の拡大をはかるために経産牛を登録、保留奨励のため農家に補助金を交付する。

ア、奨励補助金交付対象者……経産牛のうち今後3～4年間保留管理するものとし、事業主体に登録した農家

(6) 生乳出荷近代化促進事業

生乳販連が生乳受託販売の円滑な実施をはかるた

畜産施設設計コンサルタント

〔KK〕山本設計事務所

仙台市柏木3丁目2の28
TEL (0222) 33-6028

今日の活力！ 明日の健康！

全酪牛乳



全国酪農協同組合連合会(全酪連)

めにミルクタンクローリーを設置する事業と、農協、農協連(生乳販連に直接間接に生乳を販売しているもの)が集乳の合理化、生乳の品質改善をはかるため農家に貸付けるバルククーラー等を設置する事業に対し、生乳販連が助成する。

ア、補助対象および補助金

ミルクタンクローリー(容量5,400ℓ以下)
 $\frac{1}{3}$ 以内

バルククーラー(容量500ℓ以上) $\frac{1}{3}$ 以内

バルククーラー収容施設30㎡を限度として1㎡当り2万円。取付道路整備10mを限度として1m当り5千円。

(7) 草地利用施設整備事業

農協、農協連、農業生産法人その他の団体が国の助成により既に造成された草地より効率的利用を図

るために必要な施設の整備に対し生乳販連が助成する。

ア、事業主体……当該草地を管理運営し、出荷生乳を生乳販連に直接間接に販売している農協、農協連、農業生産法人、構成員が5名以上の組織体。

イ、補助対象施設および補助額

牧道	(1団地当り10ha以上)
雑用水施設	(" 30 ")
隔障物	(" 5 ")
電気導入施設	(" 30 ")
家畜保護施設	(" 30 ")
飼料貯蔵施設	(" 30 ")
草地管理用機械施設	(" 30 ")
飼料乾燥施設	(" 30 ")

消費者は王様!

牛乳々製品懇話会を開催

＝ 県生乳販連、消費者との融和を図り、酪農乳業の発展を目論む ＝

鴫 正 三

コミュニティー時代に対応して県生乳販連では牛乳々製品についての本質と価値を消費者に理解してもらい、あわせてその消費の拡大をと企画して、昭和46年2月以来、牛乳々製品懇話会をもって、牛乳々製品の円満消費促進を図って来た。

これは従来における、乳業メーカーそれぞれの立場立場で、わが方こそは!!とこれ宣伝につとめて来た方法と違って、いづれにも片寄らずマークを超越し、牛乳々製品の本質の理解を優先してのPRであるところに特徴がある。

何にしても同じでありましょうが牛乳々製品も消費者あつての生産であるという精神からこの懇話会が発意されたものである。この懇話会は、別表のように消費者を主体としており、それに学識経験者、行政当局、生産者代表、乳業者および販売店の代表といったメンバーであり、すでに消費者サイドから出されたテーマにしたがっ

て対話をするという方法で今回で8回と会を重ねて、その所期の目的を果して来た。

これは、本県酪農、乳業界にとって従来考えられなかった画期的な試みであり、その効果も大きく評価されている。

この懇話会を主宰して感じていることは、消費者の牛乳々製品に対する疑問には際限がなく、その中には、われわれ自身が教えられることも意外に多く改善に、合理化に多くのヒントを与えてくれることである。

牛乳1つをとってみてもこの有様である。ましてや肉、タマゴ、プロイラー更に広く農産物となれば大変なことであろうと、つくづく考えさせられる今日この頃である。

私共は今後共、米に次ぐ第二の食品といわれる牛乳々製品について更に更に消費者の方々と共に、生産から消費にいたるまでの、諸問題について探究し、勉強し、かつ対話を通じて得た果実を酪農乳業の改善進歩の糧にし

パスチャー・ポストD型

脱柵の心配のない隔障物

北原電牧(株)代理店

仙台市卸町三丁目1番地21号



吉田産業仙台支店

TEL (0222) (92) 4131

畜産の薬品・器機

何でも揃ふ専門店

仙台市上杉三丁目3-8
 東北獣医薬品株式会社
 TEL (25) 7338

支店 登米郡迫町佐沼下田中
 TEL 迫(2)278

支店 山形市小白川町4丁目
 TEL 山形(3)9909

て参りたいと思っている。

消費者の方々から出されるご質問には正確にお答え申しあげ、又ご意見はすなおにこれを受けとめ、よく消化して参りたいと思っております。これが即、酪農、乳業発展のみちにつながるものと確信するからである。

あえてこのことを稿としてご紹介申しあげたのは牛乳々製品に限らず農畜産物すべてが消費者の理解があつてこそ堅実な生産振興が図られるものと理解したからである。

牛乳消費促進協議会宮城県支部(牛乳乳製品懇話会)委員名簿

(順不同)

構成区分	氏名	所属機関団体名
消費者代表表	伊藤 俊子	仙台市婦人懇談会書記
	小林 澄	仙台市婦人会議役員
	平間 ふさ	宮城県食生活改善推進員連絡協議会副会長
	正宗 千香子	仙台市主婦連合会会長
	西村 千代子	宮城県各種婦人団体連絡協議会会長
	渡辺 玲子	消費生活コンサルタント
	高木 三男	東北大学生協同組合専務理事
	西條 典雄	宮城県学校生活協同組合専務理事
	もりた 翠林	こんにちは新聞編集員
	上野 淑子	宮城県消費者協会会員
	荒 富美	宮城県生活学校連絡協議会会長
	野口 丑松	栄養士会宮城県支部長
	学識経験者	中西 武雄
星 宮 啓		東北学院大学教授
後藤 たへ		宮城学院女子大学教授
大槻 昌夫		宮城県生乳検査協会所長
行政当局	佐久間 健一郎	宮城県農政部畜産課課長
	見沢 修己	宮城県衛生部環境衛生課課長
	松崎 作夫	宮城県消費生活センター所長
	木村 悟郎	仙台市消費経済課課長
生産者代表	米倉 春雄	宮城県生乳販売農業協同組合連合会会長
乳業者代表	佐藤 利吉	宮城県乳業協会会長
販売業者代表	庄子 集喜	宮城県牛乳販売店連合会長
※会長	米倉 春雄	宮城県生乳販売農協連会長
座長	西村 千代子	宮城県各種婦人団体連絡協議会長
事務局長	鶴 正三	宮城県生乳販売農協連参事

(県生乳販売農協連参事)

酪農経営に画期的な新鋭機登場



株式会社 五十嵐商会

仙台市中央三丁目5番14号

総合養豚事業にとりくむ
サイボクグループ



東北牧場

取締役社長 笹崎龍雄

取締役場長 大角宏一

宮城県栗原郡高清水町影の沢TEL(高清水)172

最近の飼料事情と 対策について

宮城県畜産課

最近における配合飼料価格の急激かつ大幅な上昇に対処して、その畜産経営に及ぼす影響を緩和するために国では次のような対策を講ずることとしたので紹介します。

1. 緊急対策

(1) 畜産経営特別資金融通措置

昭和48年9月以降49年4月までの間に畜産農家が購入する配合飼料費の一部(値上り対応分)として低利資金(金利年4分以内)の融通措置とする。

(本年4月にとった措置と同様な方法で実施される)

- ① 融資総額 約410億円
- ② 融資機関 農協その他指定機関
- ③ 貸付条件 償還期間2年(据置6カ月)
- ④ 利子補給 年4.5%(国3%,県1.5%)

(2) 配合飼料価格安定基金の拡充

① 昭和48年10月以降、従来の配合飼料価格安定基金に新たに特別積立基金制度を設け、畜産農家に対し補てんを行なう。

② 特別積立基金から補てんする額は48年10月から12月まではトン当たり4,000円、49年1月～3月はトン当たり2,000円とする。(補てん総額226億円)

③ 特別積立基金の造成はメーカー及び団体が行なう積立基金で不足する額(約211億円)については国において別途検討のうえ措置する。

2. 飼料作物生産振興対策

(1) 飼料作物生産奨励施策

大家畜経営の飼料自給度を向上されるため、良質粗飼料を既耕地に導入して、集団的な飼料作物の作付面積を緊急に増加させることを目的として作付推進を行なうとともに生産奨励金の交付を行なう。

① 市町村酪農近代化計画、肉用牛生産振興計画樹立、市町村内の既耕地において飼料作物の生産利用を集団的に行なう地区

② 飼料作物生産振興奨励金の交付
5ha以上の面積に飼料作物を集団的栽培し、う

ち1ha以上が新たに作付された面積である場合に増加作付面積10アール当たり約7,500円を奨励金として交付する。(畑地、水田裏作、転換水田など既耕地)(交付の対象は集団とする)

なお、休耕地は生産調整奨励金(10アール当35,000円)を併せてうけられるようおすすめします。

(2) 飼料用麦生産振興対策

国際的は飼料用穀物の需要ひっ迫と急速に増大する濃厚飼料の需要に対処して安定的な供給確保と価格安定化のため肥育用として需要の増加する飼料用大麦を国内で生産することを目的として麦緊急振興対策の中で実施される。

① 飼料用大麦としてばん砕、圧べん加工されたものに60kg当たり2,000円を交付する。

② 未乾燥のままサイロ詰めをして飼料用に供した場合も同様に奨励金を交付する。

以上のような奨励措置がとられることになりましたので詳細は最寄の農業改良普及所或いは家畜保健衛生所指導課にお問い合わせください。

乳用牛改良組織整備 促進事業のあらまし

宮城県畜産課

1. 目的

凍結精液利用技術の進歩と、急速な普及の動向に対処し、種雄牛の合理的な選抜確保およびその効率的な利用を促進することにより乳用牛の経済的資質の飛躍的向上を図るため、凍結精液の特性を生かした改良組織および人工授精組織の整備充実を図る。

(1) 優良乳用種雄牛選抜事業

農林省 県
家畜改良事業団

凍結精液の普及に伴い種雄牛の改良に及ぼす影響は著しく拡大しているが、現在供用中の種雄牛の殆どが能力検定されないまま供用されている現在にか



NEP

純生卵

「生産から販売まで」

(株)フラワー食品仙台営業所

TEL(0222)(92)6371

中新田GPセンター

TEL(022296)(3)3714



いつもフレッシュ!!

明治 牛乳

明治乳業

んがみ早期に種雄牛の能力検定による合理的な選抜制度を確立し、能力の明らかな検定済種雄牛の作出を図る。

(2) 広域家畜人工授精センター設置事業

農林省 家畜改良事業団

凍結精液の利用の推進に伴い、その利用の広域化が一層促進されているので優良種雄牛および検定済種雄牛の集中管理により凍結精液の広域かつ効率的な利用を促進する。

2. 事業の内容

優良乳用種雄牛選抜事業

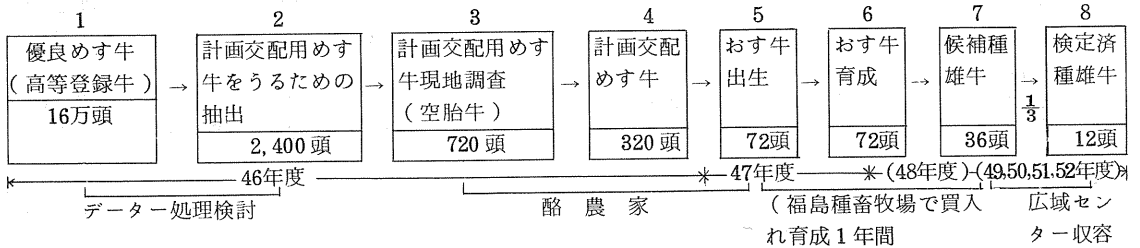
(1) おす牛生産から選抜までのしくみ(別紙)

(2) 後代検定材料娘牛の作出から作出から検定終了までのしくみ(別紙)

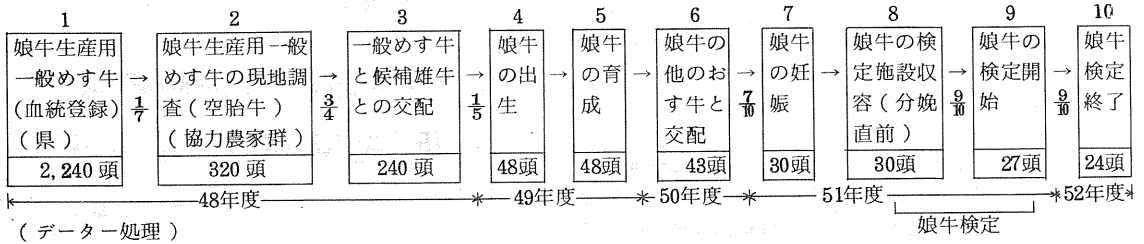
農林省 家畜改良事業団→凍結精液取扱団体→人工授精師

県 10市町村→対象農家

(1) おす牛生産から選抜までのしくみ



(2) 後代検定材料娘牛の作出までのしくみ



※昭和48年度以降10ヶ年継続実施

(白石市, 丸森町, 大衡村, 宮城町, 色麻村, 岩出山町, 中田町, 栗駒町, 河北町, 北上町)

本事業における検定材料娘牛取得のための手順

区 分	項 目	49年 1~2月	49年 10~11月	49年 10~12月	49年 11~12月	50年度 51年 2~3月
48年度 9月	1. 実施10市町村担当者への説明	5. 検定材料妊娠牛取扱のための計画交配実施について同意書受理				
10月	2. 娘牛生産用一般めす牛の現地調査(空胎牛320頭対象)協力農家群名簿作成	6. 計画交配の実施(対象牛240頭)	1. 娘牛の出生。	2. 娘牛調査, 親子鑑定。	3. 指定保留牛は出生の順に48頭を対象として育成指導する。	
10月	3. 候補種雄牛とめす牛との計画交配の決定(農林省 家畜改良事業団)					
11月	4. 凍結精液の配付(広域センター→畜連→人工授精師)					1. 育成指導
12月						2. 指定娘牛48頭対象に計画交配の実施



飼い上手 育て上手は……
あなたの……で



動物薬品・獣医器具総代理店

K. K 美濃谷



本店 山形市蔵王成沢
TEL 山形 (0236) (88) 3121
仙台営業所 仙台市山田字羽黒堂 5~216
TEL 仙台 (0222) (45) 4306
鶴岡店 鶴岡市本町一丁目 8-3
TEL 鶴岡 (0235) (22) 1428

こくておいしい大型びん……

森永
ハイグランド牛乳

宮酪乳業株式会社

仙台市一番町4番31号 TEL(代) 23-9101

51年度	8~9月 11~12月	1. 検定妊中の買入れ(妊娠7ヶ月令)畜産試験場へ収容(30頭) 2. 分娩後概ね10ヶ月間検定実施
52年度	10月 10~11月 11月 ~53年 1月 53.2月 53.3月	1. 検定終了 2. 検定終了と同時に娠牛の譲渡 3. 検定成績のとりまとめ 4. 候補程雄牛の選抜36頭→12頭 5. 検定済種雄牛の供用開始

昭和47年度

家畜共済事業の事故

発生状況について

宮城県農業共済連

本県の家畜共済事業は、包括共済制度実施以来補償の充実、家畜診療体制の整備強化等を図りながら、県下有畜農家の全頭加入を推進してきた結果、年々加入頭数並びに引受契約共済金額は伸びてきておりますが、反面不慮の事故による死産、病傷事故は、家畜の多頭飼育化、肥育事業の増大等とも関連し、近年異常に増嵩いたしております。

そこで、昭和47年度家畜共済事業の事故実績をとりまとめたので、今後のご参考に供したいと思っております。

1. 事故発生頭数

昭和47年度中に発生した、共済加入家畜の死亡廃用頭数は、1,595頭でしたが、畜種別では乳牛の事故は、711頭で前年より37頭減ったのに反し、肉用牛は、851頭の事故で前年より154頭も大幅に増加し、年々増加の傾向にあります。(表1)

一方、獣医師の診療を受けた病傷事故件数は、3万6,635件で前年度に比し1,232件の増でしたが、畜種別では乳牛が2万3,829件で、総体の65%を占め事故率の高いことを示し、また肉用牛の事故は、1万2,3

26件で前年度より1,343件増加しております。

この死産病傷事故は、家畜の多頭飼育化に伴う飼養管理の失官等が、事故発生の最大の要因であります。近年肥育事業が盛んになるに伴い、肥育素牛の若令家畜の事故が目立って多く、特に乳用牝牛の事故は年々増嵩の傾向にありますので、この事故を如何に減らし畜産農家の損失を小さくするかが今後の課題だと思います。

(表2)

(表1) 年次別死亡廃用事故頭数

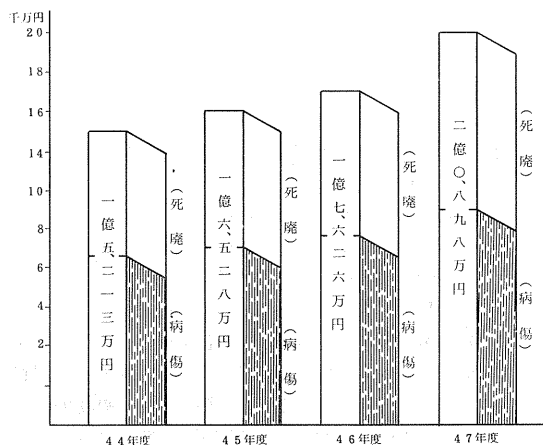
年度	畜種	乳牛	肉用牛	馬	計	45年度対比
45年度		740頭	564頭	69頭	1,373頭	100.0%
46年度		748	693	43	1,484	108.1
47年度		711	851	33	1,595	116.2

(表2) 年次別疾病傷害事故件数

年度	畜種	乳牛	肉用牛	馬	計	45年度対比
45年度		22,625件	9,700件	635件	32,960件	100.0%
46年度		23,873	10,983	547	35,403	107.4
47年度		23,829	12,326	480	36,635	111.2

(表3)

年次別支給共済金(死産病傷事故)



牧場用柵には
強く美しくスマートな

東芝製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼(株)仙台営業所
仙台市一番町二丁目7-5 TEL.277053
販売元 塚本商事機械(株)東北出張所
仙台市大町三丁目165 TEL.214581
代理店 本山振興株式会社
仙台市昭和町6番10号 TEL.346221

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事

さく井工事 設計・施工
ポンプ工事
水処理工事

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地
電話 (0222) 932461

2. 死廃病傷事故による支払額

年次別支払共済金は(表3)の通りですが、家畜包括制度が発足した、昭和42年度の支払額を100とした場合、昭和47年度の死亡廃用事故による支払額は、2.3倍また、疾病傷害事故による治療費は、2.3倍で支払額は年々増嵩しており、これら死廃、病傷事故により支払いした額を合計すると、実に2億898万円の多額にのぼっております。

3. 死廃事故の内容

(1) 乳牛の死廃事故では、乳牛の職業病とも言える泌尿生殖器病が最高の事故発生割合で、事故全体の32.8%を占めております。この事故の主なもの、昨年同様産前、産後の起立不能症と乳房炎の事故で、特に乳房炎については、潜在性乳房炎が意外に多く手おくれから結果的には、悪性の急迫な壊疽性乳房炎に移行する傾向にありますので、初期の乳房炎において適切な徹底した治療を行ない根治せしめたいものであります。

(2) 次に乳牛の死廃事故で、年々増加の傾向にある運動器病のうち、61.9%を占める骨折、脱臼事故があります。この事故は、多頭飼育化による運動、日光浴の不足は勿論のこと、濃厚飼料一辺倒、その他青草、干草給与不足が結果的には、ビタミンA D、カルシウム等の欠乏を来とし、お産時の無理が産前、産後の起立不能症につながり、また重症になると骨盤骨々折等の事故になるものと考えられます。

(3) 一方肉用牛の死廃事故では何んと言っても、肥育経過中に発生する急性鼓脹症等胃腸疾患が、肉用牛全体の46.5%と約半数を占めております。したがってこの急性の疾病事故防止のため、鼓脹症等の予防薬を常備し、獣医師来診までの応急処置をとること等も一考かと思えます。

(4) 肥育事業に関連し、近年導入後日浅くして肺炎、気管支炎等の呼吸器病が急増し、このため死廃事故となった頭数は、前年より67.5%増、また尿石症は88.9%増と異常に増加しております。

このため、導入直後の健康検査の徹底、また肥育家畜にあっては、尿石症予防のため充分な飲水、粗飼料の給与その他ビタミンA D剤の常時投与、適度の運動等飼養管理に万全を期す必要があります。(表4)

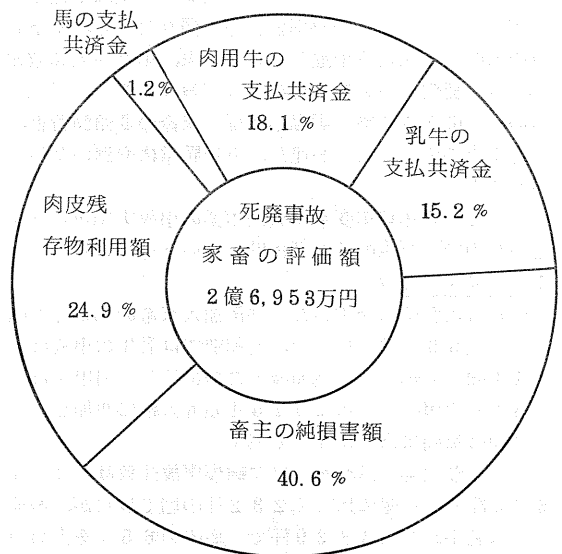
(表4) 死廃事故主要病名別発生状況(肉用牛)

病名別 年度	尿石症	肺炎、 気管支炎	急性 鼓脹症	骨折
44年度	18頭	38頭	125頭	41頭
45年度	12	70	176	64
46年度	36	74	212	82
47年度	68	124	228	103

4. 疾病傷害事故の内容

乳牛の病傷事故では、泌尿生殖器病が全体の62.8%を占めておりますが、このうち乳房炎が32.7%、また子宮、卵巣疾患が32.5%でありました。このように乳牛の病気はその大半が、泌尿生殖器病であるのに反し、肉用牛では、全事故の約3分の1に相当する35.9%が急性鼓脹症等の消化器病であり、16.3%が尿石症、月炎、膀胱炎等の肥育事業に直接関係した病気の発生となっており、16.1%が肺炎、気管支炎等呼吸器病、15.7%が飼料中毒等の疾病でありました。

(表5) 家畜共済制度による補償割合



フランス生れのソフトヨーグルト!

雪印ヨーグル

雪印純種牛乳

雪印乳業株式会社

東北事業部 仙台支店
仙台工場

ついに登場!!

牧草地用除草剤

アーシラン液剤

ウラボ、ギシギシ(ウマノスカンボ)を根まで枯します。

シオノギ製薬

TEL 仙台24-1267

5. まとめ

食肉需要の増大に伴い、肥育事業はますます盛んとなるのに反し、死産、病傷事故は年々増加し、このため畜産農家の被むる被害額も大きなものがあります。

昭和47年度死産事故となった家畜の評価額は、(表5)のとおり2億6,958万円の多額にのぼっておりますが、このうち家畜共済制度により補償された額は、9,300万円(34.5%)にしからず、これに肉皮残存物によ

る利用額6,710万円(24.9%)を加算しても、残りの1億900万余円は、畜主自身が負担する損害額となっている現況であります。したがって、今後畜産農家の損害額を少なくするため、なお一層高額加入を推進し家畜共済制度による補償割合を高める一方、関係諸機関のご指導ご協力により、積極的な損害防止事業の徹底、適切な飼養管理の指導を実施いたしたいと考えております。

昭和49年度地域畜産振興

補助事業メニュー(案)について

宮城県畜産課

地域畜産振興補助事業につきましては、国及び県の各種事業の補完的事業として県内畜産関係の皆様の間につきり定着し、年々事業規模が拡大し、特に48年度においては約80事業1億4~5千万円の補助金が本県に交付される見込であり、本県畜産振興の一翼を担っておりますが、このたび昭和49年度のメニュー案が協会から発表されましたので、とりいそぎその概要をお知らせいたし

ますので、例年以上に積極的に活用されるよう期待しております。

なお、10月中旬要綱等細部の説明会を開催し11月末もしくは12月上旬まで選定申請書を畜産課に提出してもらう予定でありますので、もよりの家畜保健衛生所と十分連絡をとって早目に計画を固めていただければ幸いです。

昭和49年度地域畜産振興補助事業メニュー(案)の概要

補助事業名	補助事業の概要	補助の対象	補助率	対象事業主体
1 畜産コンサルタント職員等設置事業	県畜産会コンサルタント、コンサルタント補職員等の人件費補助	職員設置費	定額 (本課の90%)	県畜産会
2 畜産技術の指導促進事業	畜産コンサルタント事業及び経営技術改善促進事業に即応する県畜産会の指導業務	指導旅費 事務員	定額	〃
3 馬の種付施設設置事業	種雄馬常時3頭以上を飼養し計画的な種付	種雄馬厩舎種付所他	1/2	農協、農協連、公社、15人以上の農事組合法人(農業生産法人)
④ 農用馬の供給センター設置事業	種雄馬常時3頭以上を飼養し計画的な種付を実施する。	種雄馬厩舎看視舎、牧棚	2/3	同上
5 農用種雌馬の導入事業	明け3才以下の種雌馬20頭以上を導入、農用馬の供用を行なう。	種雌馬購入費	定額 当才1頭当り10万円 2~3才2~3万円 15万円	同上
6 農用種雌馬の貸付事業	明け3才以下の種雌馬10頭以上を購入し5頭以上の農業者に4年以上貸付し増殖する。	〃	定額、1頭当り8万円 2~3才12万円	農協、農協連公社、15人以上の農事組合法人、農業生産法人、任意団体}}
7 更新用種雌馬の貸付事業	軽種種雌馬を飼養する5人以上の農業者に登録馬15頭以上を更新用として貸付する。	〃	定額、1頭当りサラ系45万、アラ系23万円	同上
8 優良農用種雌馬の繁殖奨励事業	昭和49年度において分娩をしている農用雌馬20頭以上(1郡市毎)を対象として繁殖奨励金を交付する。	繁殖奨励費	定額、1頭1万円	同上
⑨ 馬の育成施設設置事業	生後6ヶ月以上24ヶ月未満の馬常時15頭以上を事業主体直営もしくは5頭以上の農業者に利用されて育成するための施設を設置する。	育成馬厩舎牧棚、その他	1/2	同上
⑩ 馬の放牧施設設置事業	4ha以上の利用草地において常時15頭以上	看視舎、牧棚、給餌給水施設その他	1/2	同上
11 乳用子牛の集団哺育促進事業	哺育施設において生後6ヶ月令未満を限度として年間乳用子牛延7,500以上を集団哺育する。	管理費、(人夫飼料代)	定額1頭1日当り30円	同上

12 乳用雌牛の集団放牧育成促進事業	生後6ヶ月以上の育成雌牛を10ha以上の利用地において、1日平均25頭以上延4,000頭以上を集団放牧育成する(過去5回以上同補助を受けたものを除く)	管理費(人夫賃飼料代衛生費肥料代)	定額1頭1日当り40円	同上
⑬ 夏期放牧搾乳施設設置事業	夏期の間搾乳中常時50頭以上20ha以上の利用地において放牧飼養(放牧日数1頭平均90日以上)する場合の搾乳施設設置	搾乳舎, 冷却設備その他	1/2	同上
14 集団放牧用肉用種雄牛の貸付事業	肉用種雌牛常時30頭以上を15ha以上の利用草地で150日以上放牧している事業者に巻牛として、生後16ヶ月以上80ヶ月未満の種雄牛を導入して貸付する。	種雄牛購入費	定額1頭50万円	農協, 農協等公社
15 集団放牧用種雄牛の集中管理施設設置事業	メニュー14の事業と関連で種雄牛常時8頭以上を飼養し放牧地に計画的に供給していくための集中管理施設の設置	種雄牛舎その他	1/2	同上
16 肉用牛の繁殖育成センター運営改善促進事業	国が承認した肉用牛の繁殖育成センター運営改善計画にもとづき事業を実施するもの	ア施設整備育成牛舎, 肥育牛舎 イ運営促進管理費 ウ 肥育促進飼料代 エ放牧促進費	ア2/3~1/2イ種雌牛頭/日80ウ1頭54円エ頭/日50円	国が認めた繁殖センター経営中の県内4農協
17 肉用牛の供給センター運営改善促進事業	地全協が承認した肉用牛の供給センター運営改善計画にもとづき事業を実施するもの			畜産公社
18 優良雌和牛の保留奨励事業	肉用牛種畜生産基地育成事業において交配の指定を受けた種雌牛の保留奨励費	保留奨励費	定額1頭84円	肉用牛種畜生産基地育成事業の実施主体
19 肉用牛生産団地育成推進事業	肉用牛生産地育成事業の補充補助	ア肥育牛管理費 イ集団放牧促進管理費 ウ多頭生産奨励(繁殖奨励費)	定額1頭当り34円25円54円	肉用牛生産団地育成事業の実施主体
20 肉用牛の集団放牧促進事業	5ha以上の利用草地において1日平均25頭以上延4,000頭以上集団放牧育成する(過去4回以上補助を受けたものを除く)	管理費(人夫賃, 飼料代, 肥料代, 衛生費)	定額頭/日25円	農協, 農協連, 公社, 15人以上の農事組合法人(農業生産法人任意団体)
21 放牧施設の更新改良事業	国または協会の補助を受けて昭和44年度以前に設置した放牧施設の更新改良	牧棚, 給水給餌施設	1/2	同上
22 豚の人工授精施設設置事業	種雄豚常時5頭以上を飼養人工授精を実施する。	種雄豚舎精液採取処理所	1/2	農協, 農協連, 公社, 15人以上の農事組合法人(農業生産法人)
23 純粋種の種豚整備事業	昭和45~48年度まで国, 地方公共団体または協会の補助を受けて設置した種豚生産施設に導入, 年間70頭以上の登録豚を生産する。 導入頭数 ア 国内購入の場合10頭以上20頭以内 イ 外国 // 5頭以上10頭以内	種豚購入費輸送費	定額, 国内購入1頭8万円, 外国購入1頭15万円	同上
24 肉豚の肥育施設設置事業	農協等が子豚生産農家との預宅契約により常時500頭以上肥育する。	肥育豚舎ふん尿処理施設	1/3	農協, 農協連, 公社
25 凍結精液処理施設設置事業	全家畜の凍結精液を取り扱う団体の凍結精液処理施設設置	凍結精液処理所, 精液保管器, 液体窒素補給器	2/3	全家畜の凍結精液を取り扱う県一円を事業地区とする団体
26 畜産共進会の開催事業	馬, 牛, 豚の県ブロック共進会の開催経費補助	審査員旅費出品手当, 人夫賃印刷費	1/2	農協, 農協連, 公社, 15人以上の農事組合法人(農業生産法人任意団体)
㊦ 畜産環境整備事業の補完施設設置事業	畜産環境整備事業(畜産団地造成事業含む)により造成した移転用地の上利施設の設置補助	畜舎その他	1/5	
28 酪農ヘルパー用機具設置事業	乳牛頭数500頭以上の地域で酪農ヘルパーを行なう場合の施設補助	巡回搾乳用自動車	1/2	農協, 農協連
29 家畜市場付帯施設設置事業	県の家畜市場整備計画にもとづく市場整備の場合の付帯施設の補助	つなぎ場, 繋宿舎舎, 電光セリ機	1/3	農協, 農協連, 公社, 家畜商協同組合

30	生乳成分測定機設置事業	乳脂肪、無脂固形分等の生乳成分測定機の設置補助	ミルコテスター、赤外線、ミルク分析機	1/2	指定生乳生産者団体及びその会員
31	ミートセンター設置事業	牛、馬または豚の枝肉を大家畜換算1,800頭以上7,500頭未満1年間カットまたはスライスしその内容を表示包装する。	処理所、スライサー、包装機、冷蔵庫	1/3	農協、農協連、公社、畜産事業を含む15人以上の中小企業協同組合、同連合会農業共済組合、同連合会
32	食肉食鶏処理場の汚水処理施設設置事業	国または協会の補助を受けて設置した食肉食鶏処理場の汚水処理施設補助	汚水汚化設備、その他		
33	家畜の診療施設設置事業	県の家畜診療施設整備計画にもとづく施設整備補助	家畜診療所	1/3	
34	診療授精等の緊急連絡施設設置事業	診療及び授精活動の合理化のため無線連絡施設の設置補助、1基地局当り事業面積150ha以上を必要とする。	無線装置	1/2	農協、農協連、公社、15人以上の農事組合法人（農業生産法人任意団体） 公社
35	放牧外部寄生虫駆除促進事業	放牧利用地延 100 ha（実面積は利用草地5ha以上）以上の薬剤撒布に要する経費補助	薬剤費、航空機チャーター料	1/3	
36	草地造成用機械の導入事業	県一円を事業区域とする団体であって草地造成面積の増加が15ha以上ある場合に必要造成機械等の導入補助	ブルドーザー、トラクター、農具庫	1/3	
37	草地管理用機械等施設設置事業	国の補助事業により造成した草地10ha以上40ha未満を有している場合であって草地の効率的な利用を図るため必要な機械の導入補助	農具庫、乾草収納庫	1/3	15人以上の農事組合法人（農業生産法人）
38	馬の草地造成事業	2ha以上の草地造成（1団地地につき0.5ha以上）5人以上の農家の委託により造成する場合も可とする。	造成費（機械借上料、種子肥料人夫賃）	1/2	同上の他任意の団体
39	牛の小団地草地造成事業	2ha以上5ha未満の草地造成（1団地0.5ha以上）以下同上	”	1/2	同上
40	草地の更新改良事業	昭和44年度以前に国庫補助事業により造成した草地5ha以上（1団地0.5ha以上）の草地の更新改良	更新費（機械借上料、種子肥料人夫賃）	1/2	同上

注 メニュー番号に○印のある事業は5人以上の農業者の団体で実施出来る事業

人の動き

宮城県畜産課

新（8月1日付け）	旧	氏名
畜産課総務係長	蚕糸課総務係長	佐藤 義雄
〃 畜産環境整備係長	古川家畜保健衛生所防疫課長	芳賀 文蔵
古川家畜保健衛生所防疫課長	畜産課技術主査	相原 豊左衛門
商工振興総務係長	〃 総務係長	星 久夫
職員厚生課	畜産試験場	今野 直
仙台家畜保健衛生所	新潟県畜産課	佐藤 康徳
畜産試験場	（新規採用）	小嶋 文夫



△乳牛用飼料なら
明治乳牛用完全配合飼料

△仔牛の育成には
メイラック・人工乳N

明治飼糧株式会社
東京都千代田区神田小川町2の12
小川町進興ビル新館

岩島のタマゴ

強い若雛を大自然の中で育てる岩島グループ

宮城県金成町字畑大梨
TEL 022842 (279)
岩島養鶏場

畜産映画ライブラリー案内

畜産会では畜産農家の方々へ視聴覚をとおして経営技術の向上をはかってもらうため次のような畜産映画を用意し貸出してありますのでご案内いたします。(全巻カラー)

- 1 最近の乳牛の病気
- 2 乳牛のエサと栄養障害
- 3 乳牛のしつけ
- 4 これからの乳質改善
- 5 和牛の生産(よい素牛の育て方)
- 6 肉用牛の生理と栄養
- 7 新しい肉牛肥育

- 8 最近の豚の病気
- 9 豚の繁殖と生産
- 10 ニューカッスル病とその対策
- 11 ひなの育成と日常管理
- 12 鶏の生理と伝染病
- 13 新しい育雛技術
- 14 草と共に生きる
- 15 上手な牧草の作り方と利用
- 16 放牧牛の衛生
- 17 鶏, 豚, 牛の害虫
- 18 16ミリ映写機

新刊図書案内

図 書 名	発行所	価 格
※新しい乳用牛の肥育技術	中畜	1,500 円
※乳用牛舎の標準設計と利用の手引	〃	1,600 円
※豚舎の標準設計と利用の手引	〃	850 円
※鶏舎の標準設計と利用の手引	〃	750 円
家畜ふん尿処理, 利用の手引	〃	600 円

申込は畜産会へ

乳質は明日の酪農しよって立つ

家畜の堆厩肥で地力増進

草 地 造 成
畜産団地造成
公 社 牧 場
農 業 構 造 改 善
関 連 工 事
設 計 指 導

明るい農村開発

◇利用者の気持になって
丁寧の実費で◇



宮城県畜産開発公社